

先生たちに聞いてみた ひとり1台環境の はじめかた。

先生たちの体験談・
簡単チェックリスト
付き



Google for Education

教員と児童生徒が活用するのに最適な、共有可能な端末と共同編集ツール



Google が開発した学習向けパソコンで、軽量で耐久性が高く、Chrome OS で起動が早い。デスクトップモードとタブレットモードの切り替えができ操作も簡単。安心安全なセキュリティで、管理、運用の手間を省けます。

Chrome Education Upgrade

管理コンソール上から端末の管理や運用も簡単に行うことができる端末管理ライセンス。ログインユーザーの制限や、テスト中の別のアプリやブラウザを開けないように設定でき、紛失・盗難時には簡単に端末を無効化できます。

Google Workspace for Education

プレゼンテーションや表計算ソフトなど様々なアプリケーションをブラウザ上で利用でき、授業における協働学習や校務の効率化を図ることができる。教育向けエディションは無償で利用できます。

Google Workspace for Education ツール一覧

クラスを管理



Google Classroom

直接生徒と交流して課題や提出物が管理でき、生徒にわかりやすく指導ができる



Google フォーム

簡単にアンケートやテストを作成でき、集計結果はスプレッドシートにリアルタイム反映

確実な管理



管理

最高クラスの多層防御セキュリティにより、オンライン上の脅威から保護できる

最適な方法でのコミュニケーション



Gmail

メールの送受信や整理、連絡先の管理を行い、さまざまな学習スタイルに対応できる



Google Meet

学校や自宅から、どんな端末でも、簡単な操作だけでオンライン授業や会議に参加できる



Google Chat

個人間やグループでチャットができ、ファイルを共有して素早いコラボレーションが可能

場所を問わず共同編集が可能



Google ドキュメント

オンラインで文書を作成、編集、共同編集し、ノイズや学習スタイルに合わせて活用できる



Google スプレッドシート

表計算だけでなく意見集約など多様な活用方法で、リアルタイムに複数人で編集ができる



Google スライド

授業での発表などでのプレゼンテーションを作成と編集、複数人で共同編集できる



Google ドライブ

ウェブ上のファイルのアップロード、編集、共有を行える。多様なファイル形式に対応



Google Jamboard

クラウドベースのホワイトボードで、アプリケーションでも利用でき、どこからでも参加可能



Google サイト

保護者に対するポータルサイトなど、簡単なウェブサイトを容易に作成できる

すべてのタスクを管理



Google Keep

多機能メモアプリで、アイデアやタスクを管理でき、他のユーザーとも共同作業が可能



Google カレンダー

授業や会議の予定を管理・公開でき、個人用のリマインダーを追加できる

GIGA スクール構想を実現した授業が、いよいよはじまります。
新しい環境に、先生方も戸惑われているかもしれません。
しかし、心配する必要はありません。

Google for Education のツールは、
先生方のフィードバックをもとにつくられているので、
Chromebook を使った授業が初めての方でも、簡単に始められるでしょう。
先生同士、生徒同士、そして先生と子どもがともに学び合えば、
より良い学びが生まれると、わたしたちは信じています。

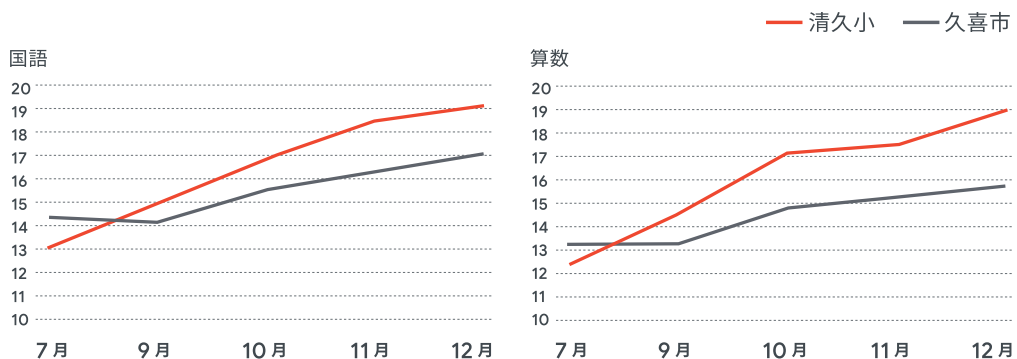
埼玉県久喜市の学力状況調査では、Chromebook を学習で活用し、
協働作業で主体性を育み学習意欲が向上した結果、
小学生の学力が、国語、算数ともに向上したという結果も得られています。

この冊子には、いち早く実践した先生のインタビューを掲載しました。
子どもたちの意見が聞きやすくなった、採点が楽になった、
クラス内のコミュニケーションが活発になったなど多くの声が寄せられています。
この先生方の体験から、ヒントを得ていただければ幸いです。

また、Google for Education では、この冊子だけに限らず、
スキルアップのための研修プログラムや先生同士の相談コミュニティなど、
数多くのサポートを用意しています。ぜひご活用ください。(p.15 参照)

ひとり 1 台環境を、より楽しく、より簡単に。
わたしたちは、これからも先生方を全力でサポートしていきます。

「久喜市ステップアップ テスト」令和 2 年度 小学 6 年生の経年変化



※埼玉県学力・学習状況調査と同様の性質を持ち、毎月実施している久喜市独自の学力調査
令和 2 年度は臨時休業等の影響により 7 月より実施

CONTENTS

Phase 1 決定後・導入前

教育委員会の指導主事による 事前の模擬授業を開催

小川 利恵 教諭 伊藤 拓也 教諭 P6・7

Phase 2 端末到着後

使い方ルールを決めて パスワードのカードを用意

西 俊之 教頭 P8

Phase 3 端末配布後

タイピングができない子は 手書き入力・音声入力に対応

初貝 美聡 教諭 P9

Phase 4 最初の授業

Google スライドで感想文を表示 他の意見もわかり児童の刺激に

井上 優志 教諭 P10

共同編集作業で 授業を楽しく、興味を喚起

西野 隼太 教諭 P11

Phase 5 現在・今後の活用

実践でわかったさらなる活用術 もっと使える Chromebook

川羽田 恵美 校長 P12・13

久喜市立清久小学校

小規模校だからこそその一体感と 創造性を大切にする校風の小学校



目指す学校像を「子どもが活躍する 潤いと創造性あふれる学校」に掲げ、楽しく学習する子(アイデアいっぱい)、思いやる子(協力いっぱい)、健康でたくましい子(元気いっぱい)の知・徳・体の3つを学校教育目標として設定している。職員数14人、児童数142人(※令和3年2月現在)。「1人1台タブレットの導入による個別最適化の学習」を研究主題とし、ICTの導入を積極的に進めている。

アンケート ※清久小学校の教職員13名にご回答いただきました。

Chromebookを
導入すると聞いたとき、
どう思われましたか？

不安だった先生方

61%

どのタイミングで
Chromebookを
利用した授業が
「問題なくできそうだ」と
感じましたか？

Chromebook導入から
3か月以内に
できそうだと感じた

100%

授業でもっとも活用している
Google for Education
(Google Workspace for
Education)の
ツールはなんですか？

TOP3

1. Google スライド
2. Google Classroom
3. Google フォーム
3. Google Jamboard

Google for Education
(Google Workspace for
Education)の各ツールで
気に入っている
機能はなんですか？

TOP3

1. 共同編集機能
2. 共有機能
3. 音声入力機能

Chromebookの
気に入っているところは
どこですか？

TOP2

1. 起動が早い
2. 動作が軽い

Chromebookを児童が
1人1台を使った授業によって、
児童が授業に取り組む姿勢が
変わったと思いますか？

変わったと思う

92%

具体的にどのように変わりましたか？

- 自分の考えが画面に映ることが、「必ず取り上げてもらえる」という感覚につながり、意欲的になった
- 学習に対して消極的な児童(自信がなく発表できない、苦手である)が自分なりに考えた意見を Chromebook を通して、表現できるようになっていった
- 自分の考えをうまく文章化できなかったり、発表できなかったりした児童が感想や意見交換をできる機会が増えた

教育委員会の指導主事による 事前の模擬授業を開催

- ▶ Chromebook が届くまでは、動画サイトで Google 認定教育者による使い方をチェック
- ▶ 学習用ソフトを使った模擬授業を実施。授業でのアプリケーションの活用法を教員同士でも模索
- ▶ 不安は誰でも同じ。疑問は学校一体となって解決方法を考えていく



小川 利恵 教諭

教員生活 28 年目。清久小学校に赴任してから 6 年目。教職員の研修主任を担当。

——清久小学校は、2019 年の 11 月に児童へ Google の Chromebook が 1 人 1 台ずつ配布されると決まったそうですね。導入が決まったとき、どのように思われましたか。

小川 利恵 教諭 (以下小川) 正直「すごい!」と思いました。以前に他県の学校視察で児童がパソコンを使ってプログラミング学習をしているところを見て感心していたのですが、まさか自分の学校でも 1 人 1 台の時代がこんなに早く来るとは思いませんでした。

——導入されるにあたり、なにか不安に思うことはありましたか。

伊藤 拓也 教諭 (以下伊藤) 自分自身が Chromebook を使ったことがなかったことでしょうか。しかも端末が児童に 1 人 1 台配布されるなんて思いもしなかったので、どう授業に生かせるのかさえわからなかったです。ただ、パソコンを

使うと児童の授業に対する意欲も向上するということを目にしたことがあったので、「いつか自分の小学校でも使う日が来るだろう」という気持ちでいました。

——不安もある中、導入決定から端末が届くまでの数カ月間で、準備として行っていたことはありますか。

伊藤 Google 認定教育者による、Google for Education の使い方事例を事前にチェックしました。ただ、まだ手元に Chromebook がない時期でしたので、動画だけ見てもイメージがなかなかできなかったというのが本音です。その中でも Google Classroom は学習に特化した点が魅力だと感じました。自分のクラスをネット上につくり、資料を配布したり課題を出したり、いろいろ使えそうだという予感がありましたね。

小川 私は不安しかありませんでした。けれど、研修担当という立場上、何か策を考えなくてはなりません。まずは市の教育委員会に Chromebook の導入にあたってどのように進めていけばいいのか相談し、模擬授業をご提案いただきました。教育委員会から指導主事をお呼びして、教員が児童役になり学習用ソフトを使用した授業をしてもらったのです。ちょうどその頃は緊急事態宣言中で臨時休業中でしたので、比較的教員も時間の都合がつきやすい時期でもありました。教員も端末に書き込んだり、大きなモニターで発表できたりすることを実際に体験できて「楽しかった」と言っていました。その後も、Chromebook が届くまで教員同士で



臨時休業中にクラスの児童とオンラインで会話する先生



伊藤 拓也教諭

教員生活 5 年目。清久小学校がはじめての赴任先。5 年生の担任を受け持つ。



教員が児童役となり、端末を使った授業を体験(写真上)、理科の実験でも活用(写真左)、Google スライドを使う様子

Google Earth を使って社会科の模擬授業をするなど、事前
にできるだけ準備を進めました。

—他の教員の反応はいかがでしたか。

伊藤 最初は ICT 機器に対して苦手意識を持っている教員も少なくありませんでした。そこで困っている教員がいたら、自分も一緒に考えて学校全体で一つひとつ解消していった感じです。導入前は不安が特に大きかったのですが、Chromebook が届いて実際に授業で使われるようになると、お互いの学年での使い方についての情報を交換して、「その機能を低学年で使えたなら、高学年ではこう使える」といったように、応用の仕方についても考えが広がるようになりました。

—児童たちは Chromebook が配られると知って、どのような反応だったのでしょうか。

伊藤 5 年生を担当していますが、児童たちはネットにも慣れ親しんでいるので、とてもわくわくしていました。「いつから使えるの?」と、何回も聞かれましたね。

— Chromebook を導入している現在は、どのように活用していますか。

伊藤 Google スライドの共同編集機能を使って図工の鑑賞を行ったり、算数でグラフをつくったりしています。鑑賞会では、Google スライドに自分の作品を貼って、さらに吹き出

して感想なども貼り付けて、一目でわかるようになったのが良かったように思います。最近では Google Jamboard を児童同士の話し合いの場に活用しました。

小川 現在は新型コロナウイルスの流行で、なかなか学校行事も思うようにできないので、始業式や集会、授業参観をオンラインで開催してみました。いつもは会場の後ろの方は壇上が見えにくかったりするのですが、画面上なら先頭になった気分で平等にスピーチの様子が見られるのが良いですね。また教員側は、児童一人ひとりの表情や姿勢などもわかります。教員の目が届くとあって、画面の前で児童も緊張感を持って参加していました。また児童だけでなく、保護者も人数や場所に関係なく参加できる点もオンラインのメリットです。

—これから Chromebook を導入する学校の先生たちに何かアドバイスはありますか。

伊藤 やはり届くのを待つ間は不安ばかりが先行してしまいがちですが、あまり考えすぎなくてもいいと思います。教員同士で相談し合ったり、解決し合ったりする中で、不安な気持ちも晴れていくのではないのでしょうか。

小川 まだまだ私は ICT が苦手な、今も不安はあります。導入前、自分一人ではわからないことも多かったのですが、教育委員会などにサポートしてもらえたことが支えになりました。わからないときは、積極的に人に聞いてみるのもいいと思います。

使い方ルールを決めて パスワードのカードを用意

- ▶ 充電場所を確保し、アクセスポイント設置工事の日程を確認
- ▶ 小学生も始めやすいように、IDとパスワードをカードに記載して各自に配布
- ▶ 授業以外の活用法を広げるために、1年間はさまざまなことにトライ



西 俊之 教頭

教員生活27年目。2020年から清久小学校に教頭として赴任。学校運営に携わる。

— Chromebookが児童の人数分届くにあたり、環境面で準備したのはどんなことですか？

まずは教室で高速通信が可能になるよう、アクセスポイントの設置が必要でした。さらに、Chromebookを置いておく充電保管庫の置き場所を決め、電源を確認。大型提示装置も一緒に導入したので、その設置もありました。すべて久喜市の教育委員会がサポートしてくれたので、こちらは納入業者との交渉や、工事の日程を調整しました。そうしたスケジュールを組んで折衝する一方で、児童たちには、もうすぐノートパソコンが届くから工事をしています、届いたらそれで楽しく勉強ができるよ、と伝えました。

— 児童一人ひとりのアカウントは市の教育委員会から配布されたそうですが、その管理について、学校内であらかじめ話し合ったことはありますか。

学校の管理アカウントがあるので、それを私が使って児童のIDとパスワードを管理することにしました。1年生から

6年生まで、どうやって一人ひとりにアカウントがあることを伝えようかという話し合いはしました。その結果、IDとパスワードを書いたカードを用意し、Chromebookと一緒に配って認識させるようにしました。

— 児童が使うにあたって、あらかじめルールは決めましたか。

担任教員の間で、「休み時間は無断で使わないこと」と「調べ学習のときは、テーマを決めて目的を持って使う」「デスクトップの設定は勝手に変えない」といったルールを確認し合いました。やはり小学生なので、決められたルールを守らせる指導は必要だと思います。夜間に充電保管庫で充電した端末を朝、教室まで持って来て使いたいときにすぐ使えるようにしたので、クラスで「持ってくる当番」を決めました。当番になった子は責任を持って、Chromebookを慎重に運ぶ様子が見られました。

— 授業以外にどんなことに生かそうと思いましたか。

オンライン授業参観や校外学習など、最初の1年はいろいろと試しています。先日、私がChromebookを1台持って地域の史料館に行き、そこからGoogle Meetを使って中継のように展示物を映し、学芸員さんの話を教室にいる児童たちに聞かせました。直接質疑応答もできましたし、机でノートを取りながら熱心に聞いている子もいて、満足度は高かったです。大勢で入れない場所も多い昨今、こうした活動がもっと広がることが期待できます。



校長先生のあいさつもオンラインで実施

タイピングができない子は 手書き入力・音声入力に対応

- ▶ 1年生にはアルファベットをひらがなに置き換えたパスワードを書いて配布
- ▶ 放課後にキーボードに慣れるための練習時間を設けて、スキルの差をなくす
- ▶ 触れる楽しさが勉強への意欲につながるように工夫



初貝 美聡 教諭

教員生活7年目。清久小学校に来て2年目。1年生の担任を受け持つ。

— Chromebook の配布前に、不安だったことはどんなことですか。

1年生ですからキーボードでの文字入力ができないのが不安でした。でも、児童たちはパソコンが来ることを楽しみにしていました。私自身は研修に3回出させてもらったので、指導主事の方や職場の先生方に教えてもらいながら、ゆっくり慣れていきました。

— 児童に配布して最初にしたことは何ですか。

まずはIDとパスワードを入力させることでした。低学年はアルファベットも習っていないので、キーボードのかな入力ができるように、パスワードをひらがなに置き換えて書いたカードを配りました。それでもかなり時間がかかったので、家でも練習するよう、保護者に連絡しました。IDとパスワードは大事なものだからなくさないように、と言い聞かせ、児童にも「自分の1台」という意識が根付いたようです。

— 配布してから授業までの間に、Chromebook に慣れさせるためにしたことはありますか。

休校要請が終わり1学期が延びた時期に、放課後に「タブレットタイム」を設けて、キーボードに慣れる練習を担当の指導で行いました。最初は慣れている子とそうでない子の差があり、できなくて涙ぐむ子もいたのですが、子どもは慣れるのが早いので、この時間ですっかり追いつくことができました。



算数の計算問題を提示し、児童それぞれが端末に考えを書き込む

— キーボードが使えない低学年の授業は、どんなふうに工夫されたのでしょうか。

1、2年生は専ら手書き入力ですね。また、選択形式のドリルもできます。算数の授業では、自分の答えを書いたノートをカメラ機能で撮影して、Google スライドにアップさせ、みんなの答えと比べる学習をしました。写真を撮るといった行為が楽しいので積極的に見せようとする意欲につながっています。また、私も児童たちの反応がよくわかって指導に生かしました。その他、Google フォームのアンケート機能を使って自分の好きなものをお互いに教え合うなど、クラスの交流に生かしています。

— 授業以外の活用で、良かったことはありますか。

授業を生配信で保護者に見てもらおう「オンライン授業参観」をしたとき、父母だけでなく祖父母まで一緒に画面を見ていたという子がいました。離れて暮らす家族にも子どもの成長を見てもらえる機会になるなと思いました。

Google スライドで感想文を表示 他の意見もわかり児童の刺激に

- ▶ ローマ字表記を習う3年の教育課程にあわせ、まずは文字入力から授業をスタート
- ▶ Google ドキュメントや Google Earth などのアプリケーションの利点を工夫しながら使い、楽しい授業を実践
- ▶ 端末を使った意見交換では、今まで発言が苦手だった児童も自分の考えを示すようになった



井上 優志 教諭

教員生活 4 年目。清久小学校に2020年赴任。3年生の担任を受け持つ。

— Chromebook を授業に導入するにあたり、何か不安はありましたか？

届く前は Chromebook を使ったことがなかったので、どのようなアプリケーションがあるかさえ知りませんでした。そのため、授業でどう活用するのか明確なビジョンも見えずに不安でした。しかし実際に Chromebook を手にしてからは、手探りですがいろいろ試して不安を払拭していった感じでしょうか。

— ICT を活用するにあたり、使い方以外にも何か児童に指導したことはありますか？

私は3年生を受け持っているのですが、まだ年齢的にモラルについては理解が難しい面もあったのですが、人権教育にも関連させながら、著作権のことなどについて児童たちにわかりやすい言葉を使って指導しました。



調べ学習にも Chromebook を活用

— Chromebook を使用した最初の授業は、どのような内容だったのでしょうか。

3年生はローマ字を学習するタイミングだったということもあり、Google ドキュメントを使ってローマ字入力で文字を打つことから始めました。すでに文字入力が得意な児童もいましたが、使い慣れていない児童もローマ字表を見ながら楽しくゆっくりやっていました。苦手な児童には、音声入力や手書き入力もあるので、時間がかかるときはそっちで入力してもいいよと声をかけて。今では徐々にですがローマ字入力のスピードを上げてがんばっています。

社会科の授業では Google Earth のストリートビューを自由に見てもらい、自分たちの通学路にある横断歩道や標識、交通安全に関わるものを探し出すことをしました。また国語の授業では Google スライドを児童の人数分用意し、感想文を入力してもらいました。児童同士も他の子のものを見方が知ることができますし、私も後から各々の感想を読みかえすことができるので、評価をするのにも便利です。

— Chromebook を活用した授業への児童たちの反応はいかがですか。

「Chromebook を使うから持ってきて」と声を掛けると、いまでも「やったー！」と喜んでいきます。みんなに見られることがあるからかもしれませんが、端末を使うとなかなか意見が言えなかった児童も、自分の考えを積極的に示すようになりましたね。

共同編集作業で 授業を楽しく、興味を喚起

- ▶ 資料画像のプリントを配らなくても瞬時に画面に表示できる
- ▶ 子どもたちの共同作業や、交流・鑑賞に威力を発揮
- ▶ 授業導入後も、他クラスの担任と活用方法についての情報を共有



西野 隼太 教諭

教員生活 4 年目。清久小学校に赴任してから 4 年目。現在 6 年生の担任を受け持つ。

— Chromebook を使った最初の授業は何でしたか。

理科の実験からわかることを各自 Google ドキュメントで書かせたのが最初でした。内容は普段と変わりませんでしたが、いつもはなかなか取りかかれぬ児童も意欲を持って書いていました。ツールが変わるだけで反応があるんです。そして、私も児童の学習状況を画面でパッと見られるので、効率が良くなりました。

— 6 年生ともなると、インターネットやパソコンを使うことについて、情報モラルの指導もされたのでしょうか。

Google Classroom でコメントを書き込むという操作だけでも、大勢の人が見ることを意識するようにと指導しました。自分のノートだけに書いているのとは異なる、と最初のうちからわかっておくことが必要だと思います。

— どんなふうに Chromebook を生かした授業案を組み立てていきましたか？

授業の内容、グループ分けする人数、時間などによってどの機能が使えるか、最初は迷いました。共同で編集作業があるときに Google ドキュメントを使うか、Google Jamboard で手軽に貼り付けていかなど。使っていくうちに、この授業にはこれが最適だなとわかるようになりました。

— 他の教員の方たちとは情報交換をされましたか。

導入当初は、放課後は常に「今日はこんなふうに使った」



自分の考えを表現し、画面を共有しながらディスカッション

「うちのクラスはこうした」と集まって話し合い、お互い参考にしていました。中でもなるほどと思ったのは、図工の時間に、児童の描いた絵にみんなが画面上で感想を書き込んでいくものです。自分の絵をみんながどう思っているのか、友達の絵にどんな良さを発見するのか、お互いに見られるというのがいいなと思いました。

— 導入されてから約半年を経て、児童の様子はどうですか。

最初の物珍しさはなくなり、当たり前にあるものとして使っています。次の単元はあの機能を使うのかな、と子どもたちが話しているのが聞こえてくることも。私も、導入されるまで Chromebook を使ったことがなかったので、児童と一緒に慣れていくつもりだったのですが、もう児童のほうが慣れていきますね。今後は、何かを発表するときに、その「質」を上げるために使わせたいですね。頭の中にあることをそのまま出すのではなく、聞く人・見る人を意識して、整理する。そうした作業がしやすいのが、Chromebook の良さだと思っています。

実践でわかったさらなる活用術 もっと使える Chromebook

ここまで登場して下さった清久小学校の教員のみなさまに、
Chromebook の授業での活用事例や、今後やってみたいことなどについて伺いました。

Q 実際に導入してわかった Chromebook の活用方法を教えてください

新型コロナウイルスの感染防止対策で調理実習ができなかったとき、学校で座学をした後、各々の家で料理を作ってもらい Chromebook で写真を撮ってもらうことにしました。また授業以外では、Google Meet を使ってオンライン上での学校行事や児童会活動を計画しています。



研修主任
小川 利恵 教諭



5年生担任
伊藤 拓也 教諭

世界遺産を調べて Google スライドにまとめる宿題を出したり、Google フォームでアンケートを取ってグラフを作ったりしました。Chromebook を使うことで、個別に指導できる機会も増えました。苦手な科目があればヒントカードを渡して答えを導くことができる点は、やはり ICT ならではのメリットです。

校外学習に全員で移動しなくても、Chromebook を 1 台持って教員が中継する方式で、全国のどこからでも児童は体験学習をすることができます。現在人数制限をして入れない施設もオンライン中継なら諦めずに訪問できますし、現地の人と直接話すことも可能です。



西 俊之 教頭



1年生担任
初貝 美聡 教諭

手書き入力でも音声入力でも、書いたものを公表するとノートに書くのとは違う効果があります。Google Classroom でクラスの友達にコメントを送信する機能を使って、自分の考えや思いを書いて送らせたところ、短い文章でも自分の考えをまとめられるようになりました。

国語の授業でグループになり話し合うときに、Google Jamboard に自分の考えをふせんにして貼り付けてもらったところ、児童同士で盛り上がっていました。またいきもの系の児童に、Chromebook を使って飼いたい生物を調べたいと言われて許可したこともあります。児童も積極的に活用したいと思っているようです。



3年生担任
井上 優志 教諭



6年生担任
西野 隼太 教諭

図工で学校の周りの風景画を描かせるときに、その場でスケッチしながらだとなかなか視点が定まらないのですが、デジカメで撮影したものをChromebookに取り込み、図工室でその画像を見ながら描くことで集中して観察でき、力を発揮できる子もいます。教室の内外で使い方が広がります。

ICTの活用と既存の学びの両軸で児童の力を伸ばしたい

— Chromebook を活用してどのような学びを実現したいと考えていますか。

ICT を活用する目的として、個別最適化の学習とアクティブラーニングの実践の2本柱を考えています。個別最適化の学習とは個々の児童に応じた指導支援の工夫をするということです。アクティブラーニングの実践としては、自分の考えを形成し、他者との学びを創造するという部分で使っています。

— Chromebook を導入してから、何か児童に変化はありましたか。

オンライン上で意見などを交わす授業では、いろいろな考えが一覧で見て話し合いが盛り上がっていました。新型コロナウイルスの感染拡大で、学校でもソーシャルディスタンスを取らざるをえない状況で元気をなくしていた児童たちも、オンラインを活用した授業ではみるみる活気を取り戻す様子が見て取れたので、私も感動しました。

— 今後、教員たちにはどのような授業に生かしてほしいですか。

導入が決まった直後は、興奮と不安が入り混じって

いましたが、とにかく操作に慣れましょうというところから出発しました。試行錯誤はありましたが、早い教員では1カ月も経つと授業も形になっていきました。半年経った今では、全員がICTを活用し、授業を教科の学びとして成立させています。ICTを活用する目的は、児童の力を伸ばすことにあります。ICTをうまく活用して児童の学びを深めることが、教員にとっても大きなやりがいではないでしょうか。一方で、ICTを活用した教育活動と同じくらい既存の学びにも有益なものが多くあります。両方の良さを取り入れることで、学びがもっと深く豊かになることに期待し、総合的に児童たちの力を伸ばしていければと考えています。



久喜市立清久小学校
川羽田 恵美 校長
小学校教諭を経て、教育委員会、教頭を経験し、2018年から清久小学校の校長に就任。

このときは何をしておくべき？

導入を通して見えた 使える！チェックポイント

Chromebook の導入から授業での活用まで、それぞれの Phase で抑えておきたいポイントをチェックリストとしてまとめました。各チェックポイントには、関連事例と連動したページも表記しています。合わせて参考にしてください。

-
- 〈児童への配布時〉
児童への ID・パスワード配布方法の検討
(ローマ字が読めない低学年にはひらがなキーへの割り振りも)

▶ P.9

 - 〈最初の授業前〉
文字入力に慣れるために、放課後などに
タイピングの練習時間を設定

▶ P.9

 - 〈授業での活用〉
Google スライドなどを使って、自分の考えをクラスで
共有する仕掛けにすることで、児童のやる気を引き出す

▶ P.10

 - 〈授業での活用〉
「オンライン授業参観」を生配信して保護者の方に
参加してもらい、新しい授業に取り組む姿勢を共有

▶ P.7

 - 〈授業への導入後〉
Chromebook を活用した授業について
教員同士で情報共有

▶ P.11

 - 〈日々の活用時〉
自治体や学校の研修などに積極的に参加して、スキルアップに、
Google for Education が提供するウェブ上の動画や資料も活用する

▶ P.15

しっかりサポートで安心！ 導入や活用に関する なるほど！なヒントや事例たち

こういうときはどうしたらいい？他の学校はどうやっているの？そんな疑問の解消や、Chromebook 活用のヒントをまとめたお役立ち情報です。上手にを使って、導入時や授業に生かしてみてください。



Google for Education 導入事例

日本の学校の導入事例動画を
まとめたプレイリスト

goo.gle/video-jp



日本全国の注目の事例

Google for Education の
活用事例をまとめた事例ページ

goo.gle/school-jp



Google Classroom ビデオ シリーズ

Google Classroom 活用方法を
まとめたプレイリスト

goo.gle/classroom-jp



Teacher Center サイト

先生向け各種トレーニングや
コンテンツをまとめたサイト

g.co/teachercenter



ティーチャー フォーラム

実際の Chromebook 活用例を
紹介したウェビナー アーカイブ

goo.gle/teacherforum



Google for Education ICT 活用に関するリソース集

活用事例、トレーニング、デモなどの
情報をリストアップ

goo.gle/resource-jp



Google for Education

Google for Education お問い合わせ事務局

TEL 0120-905-860 ※平日 9:00-18:00 (祝祭日、年末年始除く)

MAIL gfe-jp-isr@google.com

WEB <http://edu.google.com/>